



南紀熊野観光塾 第4期 「地域マネジメント」とはどういうことか? 「日本版」DMOを考える!

南紀熊野観光塾【基礎コース】カリキュラム

基礎コース	11/10 木 13:00 ~ 17:00	11/11 金 9:30 ~ 16:30	11/10(木) 夕食・宿泊は 希望者のみ	基礎実践 コース (任意参加)	11/24 木 13:00 ~ 17:30	11/25 金 9:30 ~ 16:00	11/24(木) 夕食・宿泊は 希望者のみ
	会場：リバージュ・スパひきがわ				会場：南紀月野瀬温泉 ぼたん荘		

「南紀熊野観光塾」塾長からひと言の塾の目的

南紀熊野観光塾とは「選ばれ続ける地域」をモットーに、南紀熊野のあるべき姿をみんなで考え、魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成することを目的とした塾です。人々が地域の魅力に気づき、誇りをもって幸福に暮らすことができれば、おのずとその地域の魅力に引かれて人々が訪れるようになります。では、どのような地域を目指せば住民も訪れる人々も幸福になれるのでしょうか。この塾では、それを根本から考え抜くとともに、さまざまな分野から参加された塾生の方々との間でじっくりと議論していきたいと考えています。あらためて地域づくりや観光について学び直すだけでなく、生涯に渡って一緒に活動を続けることが出来る同志を見つける場として大いに活用してください。



南紀熊野観光塾 塾長：山田 桂一郎 (やまだ けいいちろう)

初回 11月10日 (木)

開塾式 13:00 ~ 13:10 (10分)
会場：リバージュ・スパひきがわ 1階会議室(現地集合)

★基調講演は一般開放(40名)(この基調講演は参加無料です)

基調講演 山田桂一郎氏 13:10 ~ 14:40 (90分)
『地域経営に観光が果たす役割とは?』
地域の価値を創造し、向上させ続けるためには経営的な発想が求められます。なかでも、観光は地域におけるさまざまな行為主体をつなぐ極めて重要な手段になります。では、どのようにしなければいいのでしょうか? 地域経営に観光が果たす本質的な役割に迫ります。

塾長講義 山田桂一郎氏 14:50 ~ 15:50 (60分)
『なぜDMOが注目を集めているのか?』

グループ討論 16:00 ~ 17:00 (60分)
『マーケティングとブランディング』 講師：山田、出口、竹林、此松
翌日グループ討論に向け論点整理

自習 ※希望者は映像学習(自習) 17:30 ~ 18:30 (60分)

夕食交流会 18:30 ~ 19:30 (60分)
リバージュ・スパ ひきがわ
南紀熊野の大自然に育まれた食材を活かし、こだわりをもって旬の味覚をご提供させていただきます。

夜なべ談義 19:30 ~ 21:30 (予定)
リバージュ・スパ ひきがわ

宿泊 ※希望者は宿泊 リバージュスパ・ひきがわ

2回目 11月11日 (金)

塾長講義 山田桂一郎氏 9:30 ~ 10:40 (70分)
『エゴと利害関係を超えた連携は可能か?』
エゴと利害関係は人間社会に常に付きまとう障害です。どんなにすぐれた計画も、これが原因ですべてが崩壊してしまいます。では、どうすればエゴと利害関係を超えた連携が可能になるのでしょうか? 一緒に考えましょう!

グループ討論 10:50 ~ 12:00 (70分)
『DMOで目指す30年後の地域経営の姿』 講師：山田、出口、竹林、此松

発表・講評 13:00 ~ 14:10 (70分)
『発表、講師講評』 講師：山田、出口、竹林、此松

塾長講義 山田桂一郎氏 14:20 ~ 15:30 (70分)
『地域経営が目指すべき姿とは?』
これまでのプログラムで学んだことを振り返りつつ、あらためて地域経営が目指すべき姿とはどのようなものかについて考えていきます。

まとめ(60分) 15:30 ~ 16:30 (60分)
2日間を振り返るとともに、今後の活動についてプレゼンして頂きます。 講師：山田、出口、竹林、此松

基礎実践 11月24日 (木)

塾長講義 山田桂一郎氏 13:00 ~ 14:20 (80分)
『地域ならではの商品づくりとは?』
その地域でしか手に入らない価値ある商品をつくることできれば、お客様がわざわざ足を運ぶようになる必然性が生まれます。また、わざわざ足を運んでくれることで、地域へのさまざまな波及効果が期待できます。そのメカニズムと、地域ならではの商品づくりの重要性を明らかにしていきます。

活動報告 14:30 ~ 15:30 (60分)
『塾生による各種活動報告』 講師：山田、出口、竹林、此松

グループ討議 15:40 ~ 16:40 (60分)
『各種活動報告について意見交換』 講師：山田、出口、竹林、此松

発表、講師による講評、まとめ 16:40 ~ 17:30 (50分)
『グループ発表、講師による講評、まとめ』 講師：山田、出口、竹林、此松

★任意参加夕食交流会 18:30 ~ 19:15 (45分)
圧倒的こだわり!新メニュー登場『海山川御膳』
串本黒鮪・紀州真鯛・地魚・鹿のきんぴら・猪クリームコロッケ・鹿のフリカデル・ごりの佃煮・手長海老田舎煮・鮎の南蛮漬・海山川サラダ・季節の野菜の炊き合わせ・御飯・味噌汁・漬物※仕入れにより内容が変わる場合があります。

★任意参加古座川体験 19:30 ~ 21:00 (90分)
『古座川ハナアミ体験』☆有料・先着15名
~ハナアミ乙女と作る世界でひとつだけの花飾り~
古座川生まれの花飾り「ハナアミ」...野山の花やお庭の花を少しずつ使って、自由に編む田舎で生まれた文化です。古座川のおばあちゃんたち、通称「ハナアミ乙女」がひとつひとつ丁寧に編んでいます。

★任意参加夜なべ談義 19:30 ~ 22:00 (予定)
体験に参加されない方は「いろり館」で夜なべ談義をどうぞ
※希望者は宿泊 南紀月野瀬温泉 ぼたん荘

基礎実践 11月25日 (金)

グループ討議① 9:30 ~ 10:40 (70分)
『いい商品とは何か?』 講師：山田、出口、竹林、此松
あらためて、「いい商品」とは何か?の意味を本質からとらえなおし、いい商品づくりのために求められる姿勢とは何かについて考えていきます。

グループ討議② 10:50 ~ 12:00 (70分)
『いい商品を作り続けるためには何が必要か?』 講師：山田、出口、竹林、此松

発表、講師による講評、まとめ 13:00 ~ 14:10 (70分)
『グループ発表、講師による講評、まとめ』 講師：山田、出口、竹林、此松

塾長講義 山田桂一郎氏 14:20 ~ 15:20 (60分)
『選ばれ続ける商品づくりとは?』
これまでのプログラムで学んだ内容を振り返りつつ、あらためて選ばれ続ける商品づくりの本質についてとことん考えていきます。

閉塾式(基礎コース) 15:30 ~ 16:00 (30分)
閉塾式・基礎コース修了証書授与・記念撮影

「南紀熊野観光塾」塾長紹介

塾長：山田 桂一郎 JTIC.SWISS 代表、エコツーリズム協会理事、観光カリスマ 和歌山大学 教育研究アドバイザー

執業プロフィール

2005年に観光カリスマ(内閣府・国土交通省(観光庁)・農林水産省 認定)、「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ」として、これまでのヨーロッパを中心とした環境保全(環境保全活動プログラム、環境教育、環境アセスメント等。海外在住者として初めて日本の環境省に登録された環境カウンセラー)と世界各地における滞在プログラム・ツアーの実施と観光・集客交流の事業化、マーケティングの経験を活かし、観光・地域振興(まちおこし・自立型地域経営、サービス向上、人材育成や中心市街地・商店街活性化等)に関する講演やセミナーの講師として全国各地から招聘されている。また、日本国内でも地域振興・再生のコンサルタントとして様々な事業化(特に地域経営マネージメントの組織化)を進め、多方面で積極的に事業活動を展開し、多くの実質的な成果と結果を残す。民間企業やNPO法人の他にも多くの省庁や地方自治体の委員、プロデューサー、コーディネーター、アドバイザーを務め、大学や高等教育機関でも教鞭をとっている。近年は観光庁「訪日観光セミナー」講師、ミシュラン・グリーンガイドの取材コーディネイトも行う。2011年には週刊日経ビジネス誌において「次代を創る100人」の一人として選出された。

欧州では、ヨーロッパ・アルプス並びにスイス全土に渡る取材・撮影のコーディネーター、ライター(日本旅行作家協会 会員)、ビデオカメラマン、通訳としても活動。冬は、現地で唯一の日本人スキー教師、夏は、ハイキング、トレッキングガイドでもある。スポーツに関しては、山以外でもセーリング(ヨット)競技の元国体選手であり、パラグライダーでも空も飛ぶ。陸海空の全てをフィールドとしている。

塾長経歴

1965年 三重県津市生まれ
1987年 スイス・ツェルマット観光局 日本人対応インフォメーション、セールスプロモーション担当
1992年 JTIC.SWISS(スイス 日本語インフォメーションセンター)設立
1996年 環境省環境カウンセラー(事業者部門)として登録、ヴァレ州観光局日本・アジア向けプロモーション担当
1999年 Mt.6(ベスト オブ ザ クラッシュック マウンテンリゾート) 環境政策とCS(顧客満足度推進)顧問就任
2003年 環境省環境カウンセラー(市民部門)として登録
2004年 特定非営利活動法人 日本エコツーリズム協会 理事、まちづくり観光研究所 主席研究員
2005年 内閣府、国土交通省、農林水産省認定 観光カリスマ
2010年 総務省「地域力創造アドバイザー」
2011年 和歌山大学客員教授 北海道大学客員准教授
2015年 内閣府官庁「地域活性化伝道師」、和歌山大学 教育研究アドバイザー

「南紀熊野観光塾」講師紹介

講師：出口 竜也 和歌山大学 観光学部 観光経営学科 教授

【出口竜也(でくち たつや)】和歌山大学 観光学部観光経営学科 教授
1964年石川県金沢市生まれ。1987年富山大学経済学部卒業、1991年神戸商科大学(現在兵庫県立大学)大学院経営学研究科博士後期課程を中退し、徳島大学総合科学部専任講師に就任。同学部助教授を経て、2007年和歌山大学経済学部観光経営学教授に就任。2008年より現職。専門は経営組織論、経営戦略論、観光経営論。近年は、人間的アプローチによる経営学研究や産業集積研究に高い関心を寄っている。また、廣防産業集積研究センター(SIARC)理事、いき交流文化デザイン研究所理事、日本うどん学会評議員など、幅広い分野で要職を務め、学際的な活動を進めている。

(著書)『日本の経営の本流—松下幸之助の発想と戦略—(共著、PHP研究所1997年)』・『ケースブック環境イシズムの海外経営(共著、白桃書房1997年)』・『社員の経営人類学(共著、東方出版1999年)』・『経営学への旅立ち(共著、八千代出版2001年)』・『企業博物館の経営人類学(共著、東方出版2003年)』・『ケースブック・ビジネスモデルシナキソロジー(共著、文芸堂2007年)』・『経営戦略の基礎(共著、東京経済情報出版2007年)』・『会社文化のグローバル化(共著、東方出版2007年)』・『新グローバル経営論(共著、白桃書房2007年)』・『経営理念—継承と伝播の経営人類学の研究—(共著、PHP研究所2008年)』など。

講師：竹林 浩志 和歌山大学 観光学部 観光経営学科 准教授

【竹林浩志(たけはやし ひろし)】和歌山大学 観光学部観光経営学科 准教授
1970年大阪府生まれ。1995年関西大学経済学部卒業、2000年関西大学大学院商学研究科博士課程後期課程を単位取得後退学し、大阪府立大学(現 大阪観光大学)観光学部専任講師に就任。同学部助教授を経て、2007年和歌山大学経済学部観光経営学准教授に就任。2008年より現職。専門は観光戦略論、経営組織論、リーダーシップ論。近年は、観光地運営における戦略主体の移転や組織的凝集力などを中心とした経営学的研究に高い関心を持っている。また、観光庁「観光地域づくり人材育成ガイドライン検討会」委員も務めている。

(著書)『現代のチーム制—理論と役割—』(共編著、同文館、2003年)、トライブ著「観光経営戦略—戦略策定から実行まで—」(共訳書、センゲージラーニング、2007年)、『ホーソン実験の研究—人間尊重の経営の源流を探る—』(共著、同文館、2008年)、『観光入門—観光の仕事・学習・研究をつなぐ—』(共著、新曜社、2011年)など。

講師：此松 昌彦 和歌山大学 教育学部 理科教育教授 災害科学教育研究センター長

【此松昌彦(このまつまさひこ)】和歌山大学教育学部 教授
1963年東京都生まれ。1987年東海大学海洋学部卒業、1996年大阪府立大学大学院理学研究科後期博士課程を単位取得後退学し、和歌山大学教育学部研究科就任。1999年和歌山大学教育学部助教授に就任。2008年より現職。2010年より和歌山大学防災研究教育センター長を併任。専門は地質学・古環境学・防災教育。和歌山県では新世代の地質、特に第四紀の古環境について研究している。学校や地域での防災教育プログラムを開発している。最近南紀熊野ジオパーク推進協議会の学術専門委員として、南紀熊野ジオパークをサポートしている。ジオパークから地域住民が、住んでいるところの自然史を学び、災害に対して備えるためのプログラムを研究している。